



# 柿崎区地域協議会だより



発行：柿崎区地域協議会 事務局：柿崎区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL025-536-2211

## 平成31年 3月柿崎区地域協議会

平成30年度第12回柿崎区地域協議会

(平成31年3月19日開催)

### 協議事項

○平成31年度のスケジュールについて

・平成30年度同様のスケジュールとし、懇談会と、まちづくりフォーラムの実施については今後の協議会の中で検討して行くこととなりました。

### 報告事項

○平成31年度柿崎区における主な事業について

・各担当グループ長より各事業の概要説明がありました。

## 令和元年 5月柿崎区地域協議会

令和元年度第1回柿崎区地域協議会

(令和元年5月8日開催)

### 報告事項

①第6次行政改革推進計画及び事務事業評価の結果について

・総務管理部八木部長・行政改革推進課小酒井副課長から説明がありました。

②上越市柿崎マリンホテルハマナスの利用時間変更について

・山田産業グループ長と川瀬代表取締役より、食堂(レストラン)、宿泊室及び浴室(日帰り入浴)の営業時間変更の

報告がありました。

③平成30年度地域活動支援事業の実績報告について

・平成30年度の地域活動支援事業について13事業に624万1千円の補助金が交付されたとの報告がありました。

### 協議事項

①地域活動支援事業の基本審査及び採択方針による審査

・本年度は新規6事業・継続7事業の計13事業の提案があり、補助希望額が予算額を28万6千円超過したとの説明がありました。

・提案のあった13事業すべてが、地域活動支援事業の目的と合致し、柿崎区の採択方針に適合しているということが承認されました。

・新規6事業と継続の2事業からプレゼンテーションを実施してもらったこととなりました。

②地域の交通を考える会より意見書提出に向けての協議事項

・柿崎区内では「デマンド型乗合タクシー」の導入が最良と判断し、6月中旬に意見書案を作成、7月以降の協議会に提案して協議し、年内中に市長に意見書として提出する予定となりました。

③保育園を考える会の報告と今年度の取り組みについての協議

・懇談会での意見を踏まえ、今後は対象

者を限定して、保育園の保護者や小学校PTAとの意見交換を行うこととし、現役中学生との意見交換会についても検討を行っていくことになりました。

## 令和元年 5月柿崎区地域協議会

令和元年度第2回柿崎区地域協議会

(令和元年5月28日開催)

### 協議事項

地域活動支援事業の審査

・令和元年度地域活動支援事業のプレゼンテーションの実施

当日は8事業の提案団体から、提案内容のプレゼンテーションが行われました。委員からは一部質問と事業に対する激励要望、意見等の発言がありました。

## 令和元年 6月柿崎区地域協議会

令和元年度第3回柿崎区地域協議会

(令和元年6月7日開催)

### 協議事項

①地域活動支援事業採択決定

・共通審査採点の結果、全提案とも評価基準点に達しており、どの提案事業も地域活性化には重要であるとの意見があり、全補助希望額が28万6千円超過するが、協議会で協議を行った結果、全提案事業同率で減額して、提案のあった13事業すべてが採択されました。

No.	事業の名称 (○内数字は採択回数)	団体の名称	補助額 (千円)	事業の概要
9	かきざき湖八重桜広場 (柿崎川ダム第三土捨場)の周遊路整備事業⑧	ガンバ米山	961	かきざき湖八重桜広場内の西側の管理道と中央道を接続させ、車で周遊して観桜できるようにし、継続的な八重桜の管理による環境美化と新たな桜の観光名所を目指すもの。
10	黒川・黒岩ふれあい事業 ⑧	16 ピース	961	黒川小学校の閉校を機に、黒川・黒岩地域に交流の場と活力を生み出すため、旧黒川小学校のグラウンドの整備、ふれあい祭り、米山古道の散策等を実施するもの。
11	人の和でつなぐコミュニティ活性化事業①	柿崎いちもく会	956	地域行事やイベントに不可欠な折りたたみ机を整備することで、地域行事やイベントを行う人、そこに訪れる子どもたちや大人が安心して参加できるための環境を整えるもの。
12	改元記念・柿崎スマイルボウリング大会実施事業①	柿崎まちづくり振興会	640	高齢者のスポーツとして親しまれているスマイルボウリング大会を企画し、大会に備えた練習を通じて、高齢者間の交流と体力づくりを通じて健康づくりに寄与するもの。
13	年末おたのしみ会並びに関連インリーダー・ジュニアリーダー・シニアリーダー養成事業③	柿崎子ども会連合会	288	年齢に応じたインリーダー・ジュニアリーダー・シニアリーダーを養成し、その集大成として、年末おたのしみ会を通じて子どもの健全育成に寄与するもの。

6月7日の第3回柿崎区地域協議会で13事業（補助金額7,194,000円）を採択しました。柿崎区の補助金額は7,200,000円のため、6,000円の残額となりました。



5月28日プレゼンテーションの様様

## 令和元年度 地域活動支援事業 採択事業一覧 (提案順)

No.	事業の名称 (○内数字は採択回数)	団体の名称	補助額 (千円)	事業の概要
1	正直地区振興会カローリング大会事業①	正直地区振興会	580	カローリングを通じた高齢者の健康増進と、祖父母・親・子の世代間交流を通じて、地域全体で子どもを育てる機運の醸成を図るもの。
2	ドーム周辺花いっぱい事業⑩	花うえの会	246	かきざきドーム周辺の花壇に花を植えてきれいにし、訪れる人たちの心のオアシスとなる施設にするとともに、ほかの花うえグループとの交流を通じて植栽技術を高めるもの。
3	柿崎夕日フェスティバル事業⑩	柿崎夕日フェスティバル実行委員会	595	柿崎区の観光資源を生かし、住民に本格的なフラダンスなどを提供し、楽しんでもらうことにより、地域の活性化を図るもの。
4	密蔵院周辺の整備および米山登山道古道整備事業⑥	米山と密蔵院を結ぶふれあいパークの会	175	密蔵院周辺と米山登山道の道標の修復、草刈り、倒木除去、植物名の札の設置や「古道を歩く会」の定期開催を実施し、県内外からより多くの観光客の来訪を期待するもの。
5	復活！副読本「郷土柿崎のはぐくんだ人物」電子書籍化事業①	柿崎まちづくり振興会	337	中学生の副読本として作成・配布された本を多くの人から読んでもらえるように電子書籍化し、柿崎まちづくり振興会の Facebook から閲覧できるようにするもの。
6	柿崎まちづくりカレンダー一作製事業⑩	柿崎まちづくり振興会	480	柿崎区内における各行事の参加意欲を高め、地域の一体感の醸成を図るため、行政や関係機関の主な行事、地区及び町内会の主な行事を記載したカレンダーを作製するもの。
7	柿崎区農業の未来を考えるための地域ビジョン策定事業①	柿崎農業の未来を考える会	523	柿崎区の農業に対するイメージや将来展望についてアンケート調査により、農業に対するイメージをデータとして取得し、地域ビジョンの策定を目指すもの。
8	和楽器による高齢者の生きがい支援事業①	和楽器に親しむ会	452	和楽器（箏）演奏の初歩を互いに励まし合いながらグループで体験し、発表することを通して、高齢者の生きがいづくりを支援するもの。

## 柿崎区地域協議会 各委員会の報告

### ○地域の交通を考える会

委員長 吉井一寛

「地域の交通を考える会」では柿崎区内の公共交通空白地域において、運転免許を返納した高齢者や介護を必要とする方々が利用できる交通手段を検討してきました。

懇談会に参加頂いた方々にアンケートを実施した結果、現在バス運行のない地域に何らかの公共交通手段が必要との意見が93%に達しました。

また、興味を持った交通手段では「デマンド型乗合タクシー(中郷区方式)」が最多回答でした。

今後、「デマンド型乗合タクシー」の導入を最優先とし、バス路線の無い地域に路線を引く、便数は1日4便を目標にする等を盛り込んだ意見書の作成を進めていきます。

### ○みんなの保育園を考える会

委員長 薄波清美

「保育園」をテーマにして柿崎区で地域懇談会を行ったのは、今回が初めてでした。

参加された方々は、みんなの保育園を考える会から提案させてもらった方策案に対して、将来の柿崎に想いをはせながら自分なりの意見を述べられていたのが印象的でした。

様々なお考えがある中で、地域を大切に思う気持ちには共通点を感じまして、子育て世帯が暮らしやすい地域であるためには、保育園のあり方が重要と私共は考えています。

今後いただいたご意見を基に地域の皆様と保育園のあり方を一緒に考えていきたいと思えます。

## 柿崎区地域協議会のうごき（平成31年3月～令和元年6月）

開催月日	実施項目	開催月日	実施項目
3月10日(日)	地域の皆さんとの懇談会 【柿崎地区】【川西地区】	5月8日(水)	令和元年度 第1回地域協議会
3月17日(日)	地域の皆さんとの懇談会 【黒川・黒岩地区】【下黒川地区】	5月16日(木)	地域協議会だより編集委員会
3月19日(火)	第12回地域協議会	5月28日(火)	令和元年度 第2回地域協議会 第10回みんなの保育園を考える会
3月24日(日)	地域の皆さんとの懇談会 【七ヶ地区】		6月7日(金)
4月10日(水)	第9回みんなの保育園を考える会	6月13日(木)	
4月15日(月)	第14回地域の交通を考える会		

### 【編集後記】

「平成」が終わり、「令和」が始まりました。

約200年ぶりとなる天皇即位による改元で、様々な代替わりの儀式や行事が執り行われています。

「平成」は世界最悪規模の原発事故をはじめ様々な大災害を何度も経験した時代でした。

「令和」はどんな時代になるのでしょうか・・・？

さて、地域協議会では地域住民の意見を第一に考え、3月に地域別懇談会を実施しました。

どの会場も参加者が少なく、寂しい結果でした。

時期が悪かったのか、テーマが悪かったのか、それとも住民の皆さんは、地域協議会に関心が薄いのかなど、考えさせられたところではあります。

地域活動支援事業には、13団体から素晴らしい提案があり、全て採択されました。成果を期待しています。

(新部 記)

編集委員長 佐藤 健  
編集委員 太田健一

白井一夫 加藤 満

武田正教 高野武夫  
湯本清隆 新部直彦